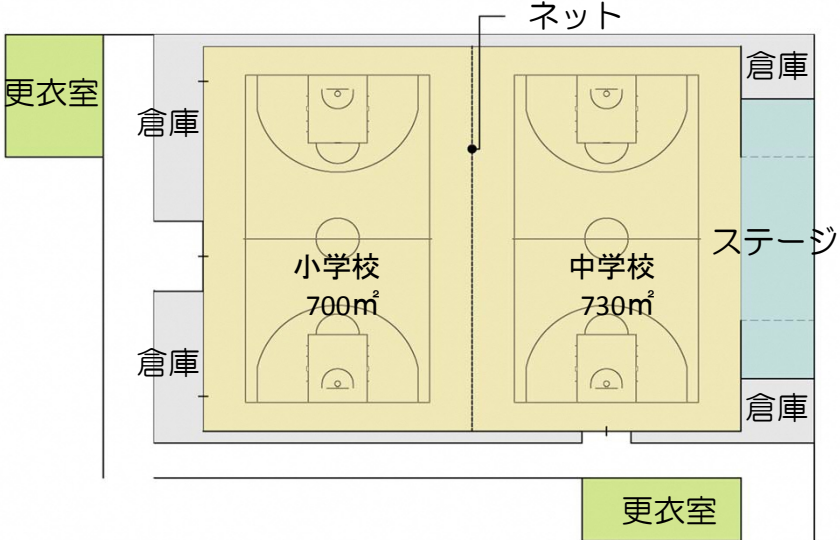
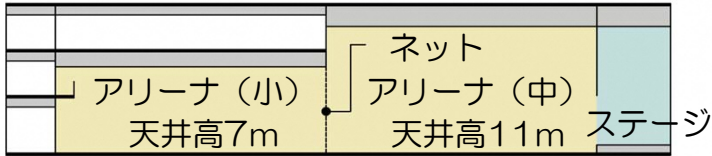
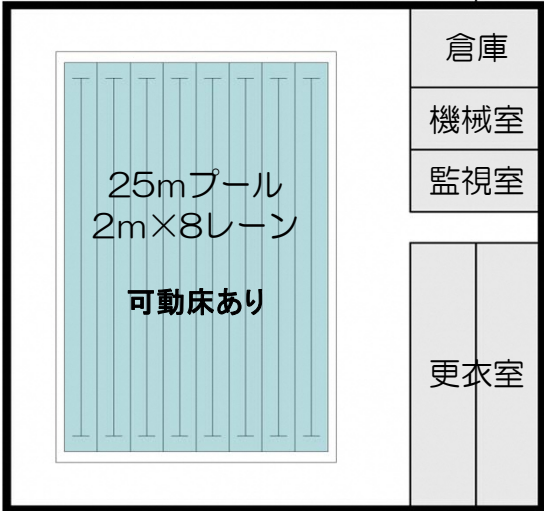


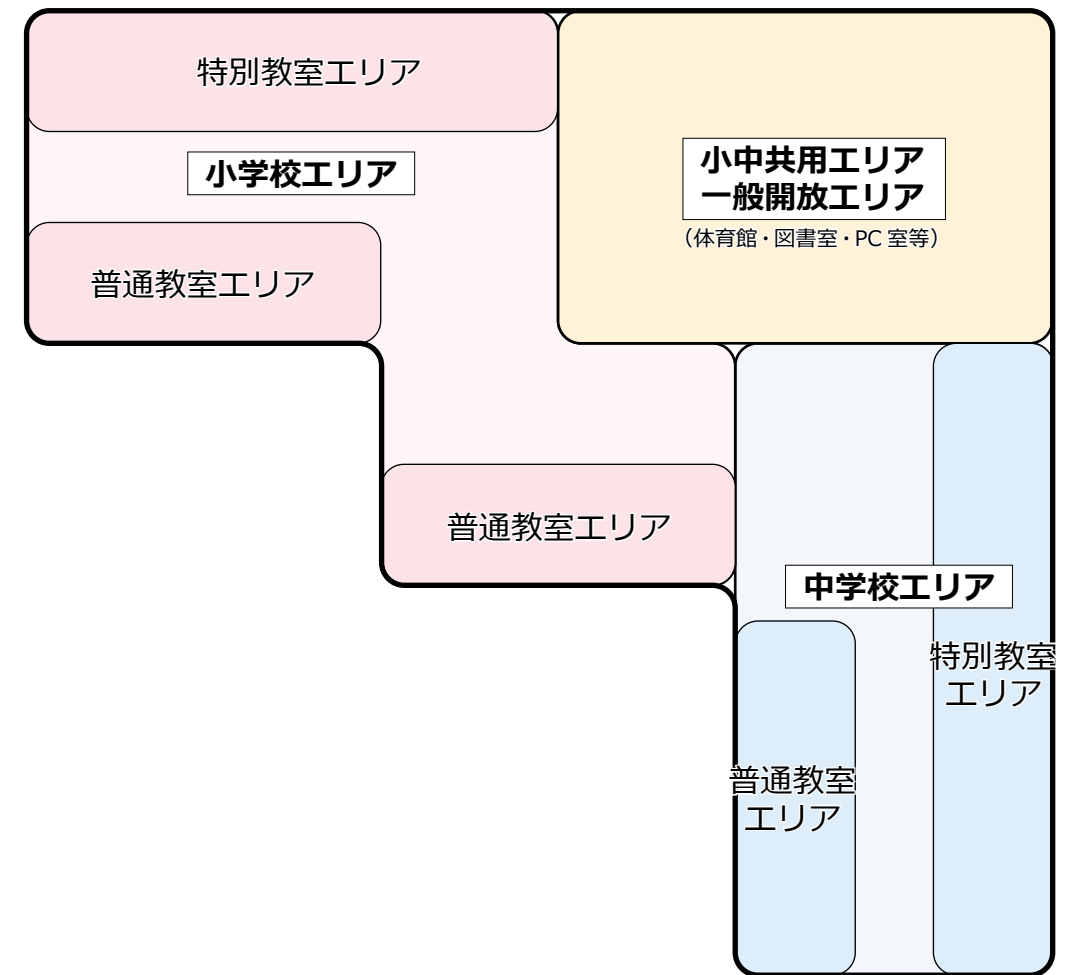
体育館・プール計画イメージ

体育館配置	
並列配置	
平面構成	 一体利用 1430㎡
断面構成	
項目	特徴
スペース	・ ステージの共用によりスペースをコンパクトにまとめることが可能。
運用	式典・ 1ヶ所でしか式典は開催できないが最大の人数の収容が可能。 ※ステージの適正数は引き続き検討していく。
	運動・ 一体利用が可能。
	開放・ 地域開放時の管理ゾーンを1層に限定可能。
インシャルコスト	・ ロングスパンを飛ばすため梁が大きくなる。 ・ 舞台設備の数量が少なくて済む。
ランニングコスト	・ 空間を共用することでランニングコストを抑えることが可能。

プール配置	
屋内プール1ヶ所設置(8コース)小・中共用	
平面構成	 屋内プール
項目	特徴
スペース	・ 小中共用で1ヶ所とすることでプールと設備スペースの縮小が可能。
運用	・ 天候に左右されない利用が可能。 ・ 通年で地域開放が可能。 ・ 小中共用のため、運用の工夫が必要。
維持管理	・ プール1ヶ所分の設備機器のメンテナンスで済む。
インシャルコスト	・ 小学校での利用及び地域開放のために深さを変えることのできる可動床が必要。 ・ スペースや設備の共用によるインシャルコストの低減が可能。
ランニングコスト	・ 通年利用のランニングコストがかかる。

晴海地区新設小学校・中学校 校舎配置比較表

		北側 L 型 配置案		北西側 I 型 配置案		西側 L 型 配置案	
校舎配置イメージ							
		凡例 ↔ 小学校・中学校 出入口 ↔ 車両出入口 空地					
項目		特徴	判定	特徴	判定	特徴	判定
教室環境	採光	・ 南面採光可。 ・ 近隣の日影の影響が少ない。	○	・ 南面採光可。 ・ 近隣の日影の影響が大きい教室がある。	△	・ 普通教室の一部が北側に向く。 ・ 校舎による自己日影の影響がある。	×
	通風	・ 校舎の奥行きが短く、 自然通風が行いやすい形状。	○	・ 校舎奥行きが大きく、 自然通風が行いにくい形状。	×	・ 校舎の奥行きが短く、 自然通風が行いやすい形状。	○
校庭環境	面積	校庭の大きさ: 約6,000㎡ 内訳 小学校: 2,200㎡ 中学校: 3,800㎡	○	校庭の大きさ: 約5,200㎡ 内訳 小学校: 1,700㎡ 中学校: 3,500㎡	×	校庭の大きさ: 約5,500㎡ 内訳 小学校: 1,800㎡ 中学校: 3,700㎡	△
		・ 最大の面積が確保できる。 ・ 少年サッカーコートが確保できる。		・ 校舎中央に大きな中庭(採光用)が必要となる ため、校庭が小さくなる。 ・ 少年サッカーコートが確保できない。		・ やや大きな校庭が確保できる。 ・ 少年サッカーコートが確保できない。	
周辺環境 (晴海五丁目の 中心との関係)	日照	・ 日当たりが良い。	○	・ 日当たりが良い。	○	・ 日当たりが悪い。	×
	校舎	・ 晴海五丁目の中心からアクセスが可能だが、 校舎東側がやや遠い。	△	・ 晴海五丁目の中心からアクセスが良い。	○	・ 晴海五丁目の中心からアクセスが良い。	○
	校庭	・ 晴海五丁目の中心からアクセスが良い。	○	・ 晴海五丁目の中心からアクセスが悪い。	△	・ 校舎によって晴海五丁目の中心と分断される。	×



基準階 平面ゾーニング

その他
小中それぞれの特別支援学級、特別支援教室の配置
を検討
5階に屋上運動スペース、給食調理室の配置を検討
屋上緑化の実施
防災用備蓄倉庫の設置

晴海地区新設小中学校 校庭舗装材比較表

舗装材		土系舗装	全天候舗装				天然系舗装		
		①クレイ塗装	②人工芝		③ゴムチップ・ウレタン塗装		④天然芝(ティフトン)		
イメージ写真									
概要		・ グリーンコート(緑色スクリーニングス)と洗い砂を混合した舗装材。		・ 直毛タイプと捲縮(カール)したタイプが混在した高密度な人工芝。芝丈約30mm程度。		・ カラーゴムチップをウレタンバインダーで固めてウレタン塗装した透水型の弾性舗装材。		・ 葉幅が細く、きめ細やかな美しいターフを形成できる生育力の高い西洋芝。 ・ 夏季の温度上昇を大きく抑制できる舗装材。	
競技 適 応 性	体育授業(ランニング)	○		○		○		○	
	サッカー	○		○		×(スパイクは不可)		○	
	野球	○		○		×(スパイクは不可)		○	
	テニス(硬式)	○		△		○		×(グラウンド面の平滑性を保つことが困難)	
	テニス(軟式)	○		×		○		×(グラウンド面の平滑性を保つことが困難)	
車両通行対応		基本的に各仕上とも直接的な車両の乗り入れは不可。通行する際は養生が必要。車両重量及び延べ台数に応じて適宜選択して養生を行う。(ブルーシート+ブラシキ、又はブルーシート+スタイロフォーム+鉄板、等)							
排水性・稼働率		・ 透水性が高く、軟弱化しにくいので降雨後の回復も早い が、他に比べると稼働率は落ちる。	△	・ 透水性型舗装材であり、降雨による利用制限も 必要ないため、高い稼働率が実現できる舗装材。	○	・ 透水型舗装であり、降雨による利用制限も 必要ないため、高い稼働率が実現できる舗装材。	○	・ 比較的劣る(下地による:暗渠設置可)	△
防塵性		・ 砂塵を抑えることは難しい。	×	・ 砂塵がほぼ発生しない、高い防塵性を有する。	○	・ 砂塵がほぼ発生しない、高い防塵性を有する。	○	・ 砂塵がほぼ発生しないが、下地は土のため 飛散の可能性は残る。	△
メンテナンス		・ 散水レーキ、ブラシ掛け、清掃等が必要。 ・ スパイク等の衝撃により、局部的な凹凸が 発生した場合には機械による掘り起し、 転圧、整地等の補修工事が必要。 (※直工費:300万円/回)	×	・ 徹底した清掃・管理が必要。 ・ 摩耗部分の張替が可能。	△	・ 基本的に必要なし。 ・ 摩耗部分の張替が可能。	○	・ 散水等の維持管理の負担が大きい。 ・ 緑色を保つには冬季に冬芝の種の散布及び 養生等が必要。 ・ 摩耗部分の張替が可能。	×
仮設ライン対応		・ 石灰ラインもしくは卵殻ライン	○	・ 卵殻ライン(通常は常設ライン芝)	○	・ 対応するものが見当たらない。 (通常はペイントライン)	×	・ 卵殻ライン(常設ペイントラインも可)	○
施工単価(グラウンド仕上げのみ)※1		13,000円/㎡ (内、散水設備6,000円/㎡)		33,000円/㎡ (ロングパイル人工芝:21,000円/㎡)		26,000円/㎡		18,000円/㎡ (内、灌水設備6,000円/㎡)	
耐用年数 (目安であり、使用頻度と管理状況により異なる)		約15年		約10年		約10年		全面的な張替えは不要	
全面張替え時の施工単価 (撤去・新設単価)※2		7,300円/㎡ (表層厚100mm撤去処分/表層厚100mm新設表面処理共)		21,000円/㎡ (既設アンダーパッドは再利用/ 表層人工芝撤去処分及び新設)		22,000円/㎡ (既設下地アスファルト舗装まで再利用/ 表層カラーゴムチップ撤去・新設)		部分的な補修の場合:5,000円/㎡ 芝生の維持管理(日常管理は除く)を推奨 200～300万円/㎡	

※1:税別。材工共。直接工事費のみ。造成工事別途。1500㎡以上。大型車搬入。
※2:税別。材工共。直接工事費のみ、

※雨水排水設備工事及び困障工事、植栽工事、その他舗装工事、遊具工事等は別途とする。